

平成18年度 広島市立矢野西小学校経営計画

学校教育目標 「 自ら学び、考えて行動する、心豊かで、たくましい児童の育成 」

・目指す子ども像

- | | | |
|------------|-----------------------|--------------------------|
| 1 自ら学ぶ子 | ・ 自ら課題を見つけ、進んで学ぶ子ども | ・ 学び方や学ぶ喜びを知る子ども |
| 2 考えて行動する子 | ・ 今、何をするか考えて行動する子ども | ・ 筋道を立てて考える子ども |
| 3 心豊かな子 | ・ 自分や他人、自然も大切にしている子ども | ・ 思いやりの心を持ち、共に伸びようとする子ども |
| 4 たくましい子 | ・ 心も体も健康な子ども | ・ 最後まで粘り強くやりぬく子ども |

目指す学校像（ビジョン）

やさしさあふれる矢野西

のびていく矢野西

に ずに応える矢野西

しっばいも生かす矢野西

- | | |
|----------------------------------|---|
| ア 基礎・基本の学力の確実な定着を図る学校 | イ 一人一人の個性を伸ばし、自己教育力を育成する学校 |
| ウ 一人一人を大切に、心豊かで思いやりのある子どもを育成する学校 | エ 学習に直結し、情操豊かな心情を培う教育環境を整備する学校 |
| オ 地域に学び、地域の教育力を活用し、情報発信する学校 | カ 教職員が日々の授業を充実させ、分かる授業・学ぶ喜びのある授業を創造する学校 |

| 領域 | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 具体的方策 | 評価指標・評価基準 | |
|-----------|---|---|--|--|---|
| | | | | 努力指標 | 成果指標 |
| 学力の向上 | 創造的、計画的な教育活動を進めることによって、学ぶ意欲を向上させるとともに確かな学力を定着させる。 | ねらいの明確な授業を行い、児童の理解度を高める。 | 評価基準を記入した週案を作成して、計画的に授業を行い、学習のねらいを達成できるようにする。 | 具体的な評価基準を記入した週案を作成している。 | どの児童も学習のねらいを達成している。 |
| | | 指導方法の工夫・改善に努め、個に応じたきめ細かな指導をすることにより、基礎・基本の学力を向上させる。 | 指導方法の工夫改善に取り組み、児童一人一人の学び方や課題を把握し、基礎学力の定着を図る。 | 指導方法工夫・改善（習熟度別指導・小人数指導など）の取り組みを行い、個に応じた指導を実施している。 | 基礎・基本の学力が定着している。 |
| | | 問題解決的な学習をできるだけ多く取り入れることにより、自ら学び考える力を育てる。 | 課題提示の仕方を工夫することにより、児童が主体的に考えようとする授業を実践する。 | 課題提示の仕方を工夫し、自分なりの考えで問題を解決する場を多く取り入れる。 | 課題に対して、自分なりの考えを持つことができる。 |
| | | 指導と評価の一体化を図り、学ぶ意欲を向上させる。 | 児童の学習の状況を的確に把握し評価して、指導に生かす。 | 児童ひとり一人の学習状況を積極的に評価し、日々の指導に生かしている。 | 児童が自らの学習状況に気付き、意欲的に学習に取り組んでいる。 |
| | | 自分の思いを分かりやすく伝えることのできる子どもを育てる授業づくりを研究・実践し、児童のコミュニケーション能力を高める。 | 音読を取り入れることで、声を出すことへの抵抗感を少なくする。 自分の考えを分かりやすく伝えることのできる授業づくりをする。 | 授業の中で意識して音読を取り入れる。 相手意識、目的意識をもって発言できるよう指導する。 | 気持ちを込めて声の大きさに気をつけて音読することができる。 自分の考えを伝える相手を意識して、分かりやすく発言することができる。 |
| 豊かな人間性の育成 | 道徳教育や体験活動を充実させることにより、心豊かで思いやりのある子どもを育成する。 | 道徳教育を推進し、道徳的心情・判断力・実践力を高める。 | 参観日に行う道徳の授業について、学年で研究を深め実践する。 | 道徳の時間の充実を図るため授業づくりについての研究をしている。 | 児童一人ひとりに思いやりが育っている。 |
| | | 学習・生活環境を豊かにし、落ち着いて生活できるようにする。 | 掃除デー（水曜日）設け、校内美化を自主的に行うきっかけづくりをする。 校内掲示を計画的に実施し学習環境を整える。 | 年間を通じてそうじデーを実施する。 校内掲示を計画的に実施している。 | 進んで清掃するようになる。 落ち着いて生活している。 |
| | | 望ましい生活習慣を身につけ、進んでかわり合い行動する子どもを育てる。 | 親子登下校の日を活用し、あいさつ運動に年10回以上取り組む。 縦割り活動の学年のねらいに基づき、充実した実践を行う。 | あいさつ運動を実施する。 学年のねらいをはっきりさせて、縦割り活動を実施する。 | 進んであいさつができるようになる。 身近かな友だちとの関わり方が身についている。 |
| | | 各種たよりの発行や学習公開などを行うことによって、保護者や地域住民に積極的に学校の様子を知らせ、教育活動への理解を深める。 | 参観日・学校へ行こう週間などで、学習を公開し、事前に学習指導案を配布することにより学習の様子を知らせる。 月に1回以上各種便り（学校・学年・学級・保健・給食など）を発行し、教育活動への理解を深める。 | 学習公開時には、内容を工夫した学習指導案を配布する。 月1回以上便りを発行し、情報を積極的に発信する。 | 保護者や地域の方に本校教育への理解が深まっている。 |
| 育ちまわりの推進 | 保護者・地域住民の期待を受け止め、「信頼される学校づくり」「開かれた学校づくり」に努める。 | 地域の人材や素材を活用した特色ある学習活動を推進し、児童の理解を深めるとともに、温かい人間関係を育む。 | 矢野町の伝統産業・文化・芸能などについてのスペシャリストやボランティアの方を招聘して、学習活動を充実させ、便り「春風」を発行する。 | スペシャリストやボランティアの方を招聘して指導している。 | 充実した活動により、児童への学習が深まっている。 |
| | | 学校評価を積極的に公表することで学校への信頼性を高める。 | 学校便り、学校評価についてのアンケートの集計結果や分析結果を知らせる。 | 学校評価に対するアンケート集計結果や分析結果を知らせる。 | 学校教育への信頼が高まっている。 |
| | | 健康・安全教育を充実させ、健康で安全な生活ができるようにする。 | 防犯教室を年2回以上計画するとともに、始業式、終業式などを利用して安全指導に取り組む。 生活振り返りカードを活用して安全な学校生活が送れるようにする。 | 防犯教室や安全指導を行う。 学期ごとに生活を振り返らせる。 | 犯罪や危険から身を守る方法が分かる。 安全に生活できるようになる。 |
| 健康安全教育の推進 | 安全教育・健康教育・体力づくりを推進し、心身ともに健康で安全な生活が送れるようにする。 | 食に関する指導を充実させ、望ましい食習慣を身につけさせる。 | 学級指導や総合的な学習の時間、関連する教科を通して、食育を行う。 | 学年または学級毎に食に関する指導を行う。 | 食についての理解が深まり、好き嫌いなく食べようと努力するようになる。 |
| | | 体力づくりの計画を立て推進し、児童の体力を向上させるとともに、運動好きな子どもを育てる。 | 新体力テストを全学年で実施し、分析するとともに、児童一人ひとりも自分の体力を知り、自分にあった体力づくりの実践をする。 体育の授業の中で体力づくりの運動を継続して行う。 | 新体力テストを実施し、結果の分析を行い、児童の体力づくりに役立てる。 体力づくりの運動を継続して行う。 | 自分の力を知り、体力や運動能力を伸ばすために役立てる。 体力づくりの運動により体力が向上したと実感する。 |